



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社トレードワークス 上場取引所 東
コード番号 3997 URL <https://www.tworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅見 勝弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安藤 千年 TEL 03-6230-8900
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,066	6.9	△65	-	△65	-	△105	-
2023年12月期第1四半期	998	△1.2	62	△74.0	62	△74.3	44	△68.5

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △105百万円 (-%) 2023年12月期第1四半期 47百万円 (△67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△32.03	-
2023年12月期第1四半期	13.63	13.61

(注) 2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,656	1,212	45.7
2023年12月期	3,043	1,385	45.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 1,212百万円 2023年12月期 1,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	0.00	-	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	17.2	180	475.4	180	336.4	110	-	33.32

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	3,441,900株	2023年12月期	3,441,900株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	141,370株	2023年12月期	141,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	3,300,530株	2023年12月期 1 Q	3,271,881株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tにて同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢に端を発した資源価格の上昇、米国や欧州でのインフレ対応利上げによる景気抑制政策に起因した景気後退懸念、また、中東や極東アジア地域での地政学リスクの高まり等もあり、不透明な状況が継続しております。国内経済におきましても、ウィズコロナの経済活動が日常化しつつあるものの、円安の継続等による物価高や原材料調達への制約があり、依然として不透明な状況が続いております。一方で、インバウンド需要の順調な回復や円安による自動車産業など輸出関連企業の業績向上が景気を後押しし、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの属する情報サービス産業においては、多岐にわたる業種で事業拡大や競争力強化を目的としたシステム投資の意欲は根強く、DX（デジタル・トランスフォーメーション）化の潮流に対応するための戦略的なシステム投資需要については拡大基調が続いております。

このような環境の下、当社グループは中期経営計画（2022年度～2026年）に基づき、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、主要事業の推進に取り組んでおります。また、当社グループは業種・業務に特化したパッケージソフトを核とした付加価値の高いソリューションを顧客に提供しており、子会社を含めた5つの事業・業務を対象に事業を展開しております。その対象とする市場に向けて、新規及び追加のシステム提案によるフロービジネスを広げるとともに、サポート及びクラウドサービス提供による安定的なストックビジネスを展開しており、中でも近年は需要が高まっているクラウドサービスの拡大に力を入れております。なお、API脆弱性診断サービスのサービス提供開始にあたり、脆弱性診断サービスは前連結会計年度までセキュリティ診断事業として運営しておりましたが、当連結会計年度よりデジタルコマース事業部での運営として事業部再編成を行っております。

以上の結果、売上高1,066,655千円（前年同四半期比6.9%増）、営業損失65,160千円（前年同四半期は営業利益62,254千円）、経常損失65,843千円（前年同四半期は経常利益62,457千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失105,702千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益44,601千円）となりました。

なお、当社グループはシステム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、各事業区分別の状況は以下のとおりであります。なお、基幹サーバー・ネットワーク設計及び構築、システム運用のコンサルティング事業につきましては、前連結会計年度中に新設された事業であるため、また、デジタルコマース事業につきましては、当連結会計年度よりセキュリティ診断事業の業績が含まれているため、前年同期比較は行っておりません。

（金融ソリューション事業）

金融ソリューション事業におきましては、一部案件の検収時期が遅れたため、売上が計画をやや下回る結果となりました。以上の結果、売上高は708,491千円（前年同四半期比19.2%減）となりました。

（FXシステム事業）

FXシステム事業におきましては、当事業の主力であります「TRADING STUDIO」のFX為替市場分析システム機能を搭載した「シグナルマップ」の拡販が引き続き順調に推移しており、また、既存顧客へのセキュリティ強化策として取り組んでおりました新たなシステムサービス（2段階認証）の提供開始により、売上高は48,425千円（前年同期比36.0%増）となりました。

（デジタルコマース事業）

デジタルコマース事業におきましては、当連結会計年度より「API脆弱性診断サービス」のサービス提供の開始にあたり、脆弱性診断サービスは前連結会計年度までセキュリティ診断事業として運営しておりましたが、当連結会計年度よりデジタルコマース事業部での運営として事業部再編成を行っております。「API脆弱性診断サービス」はWebアプリケーション自動診断サービス「SecuAlive」をはじめ、大規模システム及びネットワーク診断サービスなど、多岐にわたって脆弱性診断サービスの提供が可能となり、さらなる事業拡大に取り組んでおります。以上の結果、売上高は56,554千円となりました。

（ソフトウェア受託開発及びITコンシェルジュサービス事業）

ソフトウェア受託開発及びITコンシェルジュサービス事業におきましては、新規顧客及び既存顧客へのSalesforceによる開発業務のサービス提供が順調に推移いたしました。その結果、売上高は63,705千円（同12.3%増）となりました。

（基幹サーバー・ネットワーク設計及び構築、システム運用のコンサルティング事業）

基幹サーバー・ネットワーク設計及び構築、システム運用のコンサルティング事業におきましては、官公庁向けパッケージソフト、エネルギー分野及び医療分野へのシステムサービスの提供は順調に推移いたしました。その結

果、売上高は189,478千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,496,111千円となり、前連結会計年度末に比べ327,974千円減少いたしました。これは主に売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は1,160,667千円となり、前連結会計年度末に比べ58,584千円減少いたしました。これは主に投資有価証券の減損を実施したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,656,779千円となり、前連結会計年度末に比べ386,559千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は861,163千円となり、前連結会計年度末に比べ186,492千円減少いたしました。これは主に未払金が減少したことによるものであります。固定負債は582,717千円となり、前連結会計年度末に比べ27,767千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、1,443,880千円となり、前連結会計年度末に比べ214,259千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,212,899千円となり、前連結会計年度末に比べ172,299千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.7%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	615,045	626,196
売掛金	728,716	516,489
仕掛品	380,687	337,863
その他	99,637	37,747
貸倒引当金	—	△22,184
流動資産合計	1,824,086	1,496,111
固定資産		
有形固定資産	275,899	281,187
無形固定資産		
のれん	336,023	322,497
ソフトウェア	66,934	49,692
その他	153	153
無形固定資産合計	403,112	372,343
投資その他の資産		
投資有価証券	221,463	173,910
敷金及び保証金	188,749	183,286
繰延税金資産	97,881	118,697
その他	32,146	31,242
投資その他の資産合計	540,240	507,137
固定資産合計	1,219,252	1,160,667
資産合計	3,043,338	2,656,779
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,527	178,119
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	117,504	117,504
未払金	304,523	45,855
未払法人税等	25,225	19,182
前受金	229,394	278,330
賞与引当金	17,400	34,382
受注損失引当金	—	13,095
その他	127,080	124,693
流動負債合計	1,047,655	861,163
固定負債		
長期借入金	418,150	388,774
退職給付に係る負債	127,921	129,530
その他	64,413	64,413
固定負債合計	610,484	582,717
負債合計	1,658,140	1,443,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,127	312,127
資本剰余金	302,127	302,127
利益剰余金	938,151	765,851
自己株式	△167,208	△167,208
株主資本合計	1,385,198	1,212,899
純資産合計	1,385,198	1,212,899
負債純資産合計	3,043,338	2,656,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	998,068	1,066,655
売上原価	787,500	917,505
売上総利益	210,567	149,149
販売費及び一般管理費	148,313	214,309
営業利益又は営業損失(△)	62,254	△65,160
営業外収益		
受取利息	5	9
受取家賃	139	139
その他	59	453
営業外収益合計	203	602
営業外費用		
支払利息	—	1,121
その他	—	165
営業外費用合計	—	1,286
経常利益又は経常損失(△)	62,457	△65,843
特別損失		
投資有価証券評価損	—	47,553
特別損失合計	—	47,553
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,457	△113,396
法人税、住民税及び事業税	18,936	13,121
法人税等調整額	△1,079	△20,815
法人税等合計	17,856	△7,693
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,601	△105,702
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	44,601	△105,702

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	44,601	△105,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,587	—
その他の包括利益合計	2,587	—
四半期包括利益	47,188	△105,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,188	△105,702

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

当社はシステム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

当社はシステム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。